

# 豊潤の里 だより

## 全国有数の「ゴミ埋立て県」が広島県

～ 県内どこでも汚染問題が深刻化!? ～

赤崎最終処分場を巡っては、いぜん膠着状態が続いています。

ところで、9月5日RCC「イマナマ!」「ごみはどこから? 広島県だけじゃない」の放送を見て驚かれた方も多いのではないのでしょうか。その中で上安最終処分場(安佐動物公園近く)に多量の野積みされたゴミが風で巻き上がっている映像が紹介されていました。飛散したとみられる「春日井市」と明記されたゴミ袋が、近くの山林で見つかりました。春日井市とは愛知県春日井市のことで、そのゴミ袋は市指定の「家庭用燃やせるゴミ袋」とのことでした。この上安最終処分場には、東は茨城県から西は福岡県までの、23都府県からのゴミが搬入されているそうです。

ではなぜ、高い輸送費を払って広島県まで搬送し埋め立てるのでしょうか。和歌山県、香川県、宮崎県他多くは、条例や要綱で県外からの産廃搬入を「原則禁止」しています。しかし広島県はそんな条例はなく、全国の産廃業者にしてみれば、産廃を持ち込みやすい環境が整っているのかもしれない。

三原・竹原市民による産廃問題を考える会共同代表・岡田和樹氏は「産廃業者に対して県行政が非常に甘い対応の仕方」をしていることを指摘・追及しています。それは本郷処分場の水質汚染を巡って、産廃業者は県から4回行政指導され3回搬入ストップに至っても、県は根本原因を解明することなく、水質が回復すれば搬入を許可してきた経緯があるからです。

RCCの環境省への取材によると、「広島県の安定型最終処分場の設置件数は55件で、全国で3番目に多い」とのこと。ところがあとどれくらい埋め立てられるか(残存容量)でいうと、

「全国で約6600万 $\text{m}^3$ 、最も多い都道府県は広島県で約860万 $\text{m}^3$ 」だそうです。何とその割合は「全国の約13%(全国1位)」。処分場の件数が3倍ほどある北海道より圧倒的に多いのです。

この現実を、どれほどの県民が認識しているのでしょうか。「ゴミがゴミを呼ぶ」という恐ろしい負のサイクルの渦中に広島県があり、上安処分場・本郷処分場、そして赤崎処分場(予定)があるのです。また、その他多くの処分場が、住民の不安をよそに稼働されているのも現実です。その負のサイクルの中で利益を追求するという、産廃業者の「ビジネスモデル」が見てとれます。できることから行動しましょう。

### 設置件数(件)

|      |     |
|------|-----|
| 北海道  | 153 |
| 山口県  | 56  |
| ★広島県 | 55  |

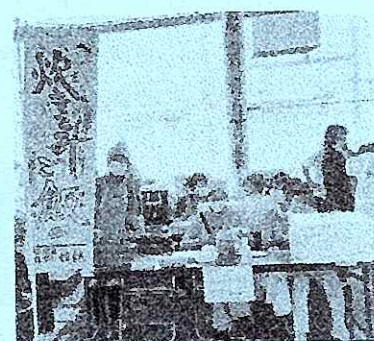
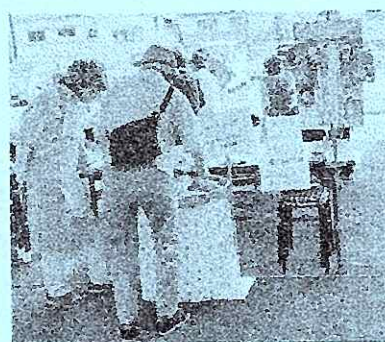
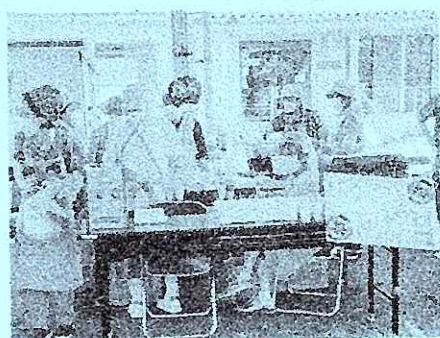
### 残存容量(万 $\text{m}^3$ )

|      |     |
|------|-----|
| ★広島県 | 863 |
| 宮崎県  | 556 |
| 北海道  | 525 |

## あきつふれあい夏まつりに参加

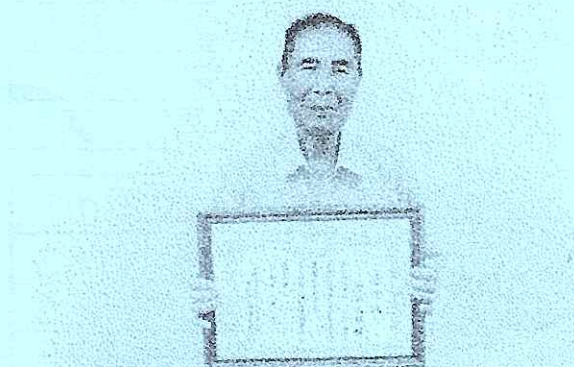
8月23日、「あきつの福祉をすすめる会」が主催し、東広島市・東広島市社会福祉協議会が共催する「第15回 あきつふれあい夏まつり」が安芸津B&G海洋センター内で開催されました。木谷からは木谷小蛟龍太鼓が出演し、地区社協蛟龍から3グループと木谷小PTAが出店しました。

“福祉の縁日”をコンセプトにしたこの催しに、約2500人(主催者発表)が来場。各出店ブースの賑わいや発表演目を楽しみました。



## 部会活動紹介

### 環境衛生部会



7/31 日本赤十字社から感謝状

長年献血活動に貢献された木谷公衆衛生推進協議会会長の有田久好さんに、日本赤十字社の湯崎英彦広島県支部長から感謝状が手渡されました。

### 福祉生活部会



8/2 「友愛訪問」で熱中症予防を啓発

この夏も熱中症予防が重要課題に。啓発と見守りを兼ね、309名の高齢者に「塩と黒糖のタブレット」とお茶が届けられました。

<区長・木谷自治協・木谷地区社協 蛟龍>

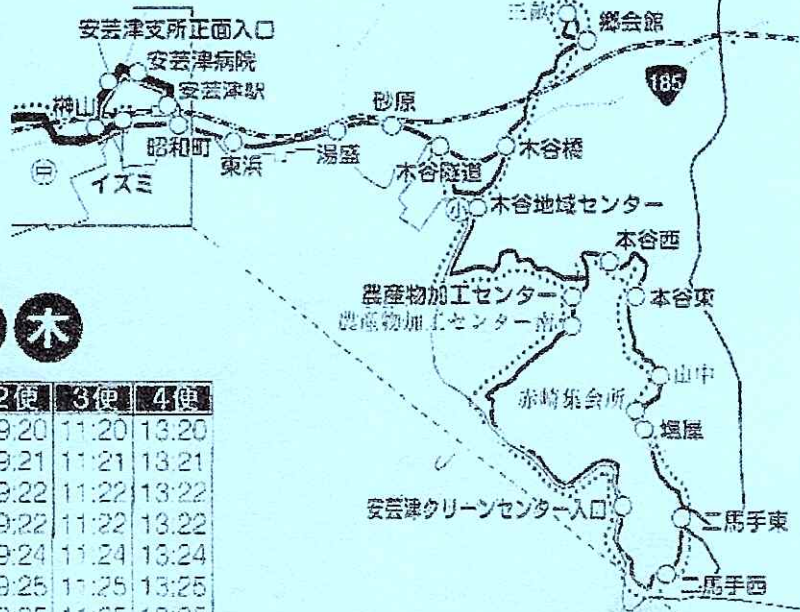
| 木谷の人口（住民基本台帳）     | 世帯数 | 人口   | 男   | 女   |
|-------------------|-----|------|-----|-----|
| 令和7年(2025)8月末現在   | 664 | 1369 | 669 | 700 |
| 令和6年(2024)8月末との比較 | -13 | -40  | -14 | -26 |

# 海風バス あなたも利用してみませんか



## 海風バス運行路線図

## 木谷線



## 木谷線

## 月 火 水 木

| 停留所名          | 1便   | 2便    | 3便    | 4便    |
|---------------|------|-------|-------|-------|
| 安芸津駅          | -    | 9:20  | 11:20 | 13:20 |
| 安芸津病院         | -    | 9:21  | 11:21 | 13:21 |
| 安芸津支所正面入口     | -    | 9:22  | 11:22 | 13:22 |
| 山             | -    | 9:22  | 11:22 | 13:22 |
| 伊             | -    | 9:24  | 11:24 | 13:24 |
| 昭和町           | -    | 9:25  | 11:25 | 13:25 |
| 東浜            | -    | 9:25  | 11:25 | 13:25 |
| 湯盛            | -    | 9:26  | 11:26 | 13:26 |
| 砂原            | -    | 9:27  | 11:27 | 13:27 |
| 木谷橋           | -    | 9:27  | 11:27 | 13:27 |
| 木谷            | 7:17 | 9:28  | 11:28 | 13:28 |
| 三             | 7:21 | 9:31  | 11:31 | 13:31 |
| 根             | 7:22 | 9:32  | 11:32 | 13:32 |
| 木谷地域センター      | 7:26 | 9:36  | 11:36 | 13:36 |
| 農産物加工センター     | 7:30 | 9:40  | 11:40 | 13:40 |
| 農産物加工センター南    | 7:30 | 9:40  | 11:40 | 13:40 |
| 安芸津クリーンセンター入口 | 7:34 | 9:44  | 11:44 | 13:44 |
| 二馬手西          | 7:35 | 9:45  | 11:45 | 13:45 |
| 二馬手東          | 7:36 | 9:46  | 11:46 | 13:46 |
| 塩屋            | 7:37 | 9:47  | 11:47 | 13:47 |
| 赤崎集会所         | 7:37 | 9:47  | 11:47 | 13:47 |
| 山             | 7:39 | 9:49  | 11:49 | 13:49 |
| 本谷東           | 7:40 | 9:50  | 11:50 | 13:50 |
| 本谷西           | 7:41 | 9:51  | 11:51 | 13:51 |
| 木谷地域センター      | 7:45 | 9:55  | 11:55 | 13:55 |
| 木谷橋           | 7:46 | 9:56  | 11:56 | 13:56 |
| 砂原            | 7:46 | 9:56  | 11:56 | 13:56 |
| 湯盛            | 7:47 | 9:57  | 11:57 | 13:57 |
| 東浜            | 7:48 | 9:58  | 11:58 | 13:58 |
| 昭和町(安芸津線)     | 7:49 | 9:59  | 11:59 | 13:59 |
| 伊             | 7:50 | 10:00 | 12:00 | 14:00 |
| 山             | 7:52 | 10:02 | 12:02 | 14:02 |
| 安芸津支所正面入口     | 7:52 | 10:02 | 12:02 | 14:02 |
| 安芸津病院         | 7:53 | 10:03 | 12:03 | 14:03 |
| 安芸津駅          | 7:54 | 10:04 | 12:04 | 14:04 |

※停留所名のうち○は、通過時刻の目安です。

平成21年4月から運行が開始された「海風バス」は、町内3路線を走る地域公共交通として運用されています。乗車は1回あたり300円(小人150円)で利用できます。なお高齢者割引乗車券(10枚つづり2000円)を社内で購入できます。

木谷便は、停留所も追加され、県病院への通院や買い物など、日常の移動がとても便利になりました。また、郷や赤崎地域ではフリー乗降区間があり、どこでも手を挙げれば乗降できます。

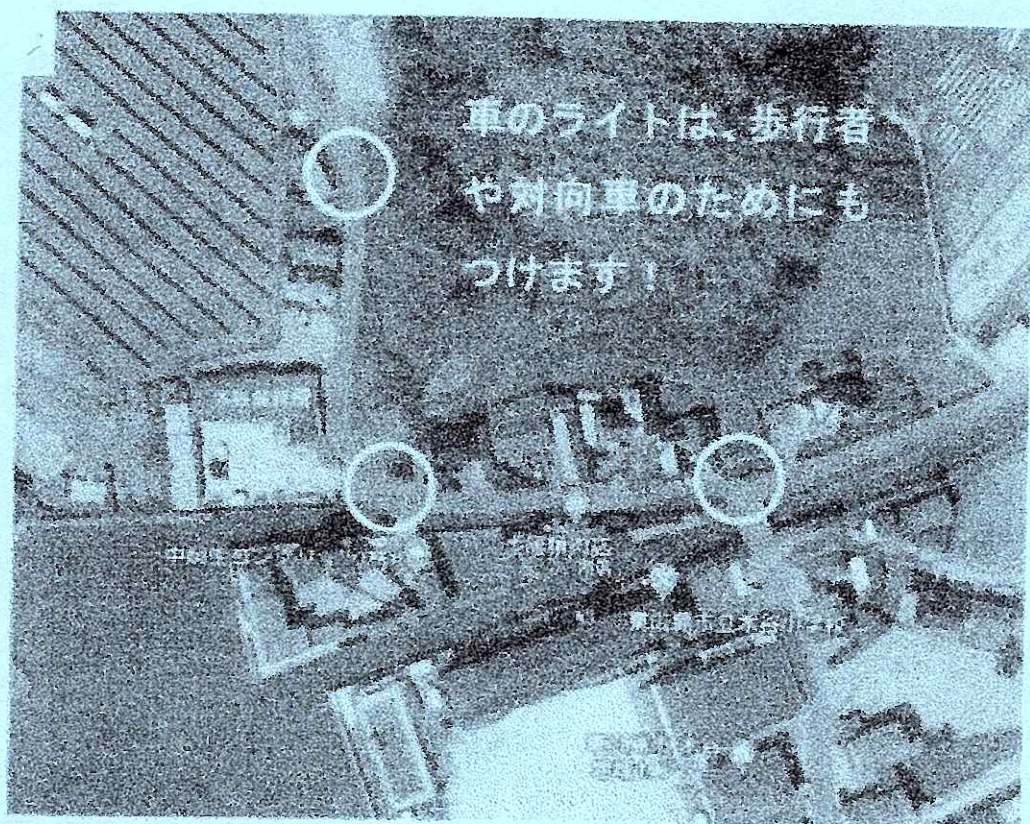
しかし現状では、利用者の低迷が課題となっています。(木谷便では、1便あたりの平均利用者数は約1.3人)。

市としては交通弱者対策の公共交通であることから、なくすことはできないと考えているそうですが、公共交通の存続のためには、より多くの利用が望まれます。まずは、皆さんも利用されてみることをお勧めします。

# 思いやり運転のお願い

朝夕ずいぶんと暗くなり始めました。

登校児童・自転車通学の中学生の安全確保



地図の○印のカーブ地点、見通しが悪く、道路幅も狭く、車の運転で気を遣われていることでしょう。対向車や登下校の児童だけでなく、保育所への園児の送迎車、自転車通学の中学生と重なることもあります。

少しでも安全に通行するために車のライトをつけて、カーブミラーで互いに確認しやすくしましょう。もちろんスピードは控え目で！

見守り安全ボランティア一岡より